

福知議員（民主県政会）

令和2年2月25日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）教職員の配置問題について

中学校教諭について名簿登載者数が採用見込者数を下回った理由と、来年度臨時的任用教員の未配置問題に対する影響や来年度の対策、さらに来年度の採用について小学校教諭等を含め、同様の事態が起こった時にどのような対応をしていくのか、併せて教育長の見解を伺う。

（答）

県教育委員会といたしましては、昨年4月に中長期の採用計画を策定し、この計画に基づき、今年度の教員採用試験を実施し、教諭の名簿登載者数を昨年度よりも120名増やすなど、計画的な人材の確保に取り組んでいるところでございます。

こうした中で、ほとんどの校種で採用見込人数を上回る名簿登載を行ったところでございますが、中学校につきましては、小学校とは異なり、教科ごとの募集であり、教員免許状所有者の少ない技術や美術など一部の教科において、志願者数が少なく、結果として採用見込人数を確保できない状況がございました。

これらの教科につきましては、定数内の臨時的任用教員で対応することとなるため、現在、求人情報サイトの活用や大学との連携、退職者に対する継続勤務の働きかけなど、あらゆる方法で人材確保に努めているところでございます。

また、再度、同様の事態が生じることがないように、来年度の採用試験に向けて、教員養成課程を持つ県内外の大学で、広島県で働く魅力を伝える採用説明会を開催したり、教員免許を所有し現在教職に就いていない方を対象とした説明会を開催したりするなど、志願者の確保に努めているところでございます。

今後は、志願者増につながるよう、採用試験の実施方法の見直しも検討するとともに、引き続き、中長期の採用計画に基づき計画的な教員の確保に努め、定数内の臨時的任用教員の解消に向けて、全力で取り組んでまいりたいと考えております。